

# ぎふ女性農業委員

## だより

2013年1月28日  
(第3号)

◆ 編集・発行 岐阜県女性農業委員協議会  
会長 後藤 展子

<事務局> 岐阜県農業会議  
〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-12  
TEL:058-268-2527  
FAX:058-273-6177  
E-mail:gifu@nca.or.jp



県女性農業委員協議会総会の様子

### 県女性農業委員協議会総会 後藤展子会長他役員再任される

平成24年9月20日、美濃加茂市生涯学習センターにおいて、県女性農業委員協議会の総会が開催された。県下女性農業委員37名中17名が出席（委任状19）し、平成23年度事業報告及びび収支決算、平成24年度事業計画及

び収支予算を決定し、平成24年度から任期3ヶ年の役員を決定した。会長に後藤展子氏（中津川市・再任）、副会長には市橋直子氏（瑞穂市・再任）、佐伯美智代氏（白川町・再任）、中野多千子氏（飛騨市・再任）、監事に國島まさ氏（輪之内町・再任）、中谷ちづえ氏（高山市・再任）を選出した。

同日は午前中に古井第二保育園での「キッズキッチン」を視察し、総会終了後には（社）県栄養士会が行っている「食べて！学んで！地産地消推進事業」への女性農業委員の協力と今後の食農教育の推進などについて意見交換した。

### のキッズキッチン 視察



野菜の切り方を教わる園児

野菜について説明する栄養士





研修会の様子

1月13日(火)、浜松市のグランドホテル浜松において、全国農業会議所主催で東海近畿ブロック女性農業委員研修会が開催され、本県女性農業委員12名、全体で8県から74名が参加した。冒頭、地元静岡県女性農業委員の会 古見梅子会長から「名倉前会長の提案で作成した『食育かるた』は各方面から良い評価をいただいている」とのお話を伺った。

次に、情報提供として関東農政局経営事業支援部経営支援課女性・高齢者係長 宮下玲子氏から「農林水産業及び農山漁村の活性化のための女性の能力の積極的な活用について」と題してお話を伺った。さらに、埼玉県女性農業委員協議会 会長 横田友氏より「女性農業委員の役割について」と題する講演を頂いた。平成20年に埼玉県秩父市で「栃谷ふるさとづくりの会」を結成し、35年間不耕作であった農地の復活と地域の活性化に向けた元気な取り組みを紹介された。

その後、グループディスカッションとして7グループに分かれ「女性農業委員として出来ること…」をテ

## 東海・近畿ブロック女性農業委員研修会 及び県女性農業委員研修会の開催

ーマに耕作放棄地の解消・担い手育成・食育・6次産業化など多岐に亘る項目について討論が行われた。参加された女性農業委員はすでに活動を

ておられる方も多く、「大きな事は難しいが、小さな面積なら耕作放棄地解消に取り組み、そこで大豆づくりや手作り豆腐づくり、子どもたちとの食育へと、父兄や先生も巻き込んで取り組める」などの意見が出された。最後に静岡県農業会議 遠藤事務局長から「食育だけでなく、遊休農地解消も話題になり、すばらしいグループ討議であった」との講評を受けた。研修会終了後は、しずおか女性農業委員の会(21名参加)と本県の女性農業委員で夕食を囲み、有意義な情報交換会が行われた。



メロン農場の視察

また、県女性農業委員協議会の企画として、1月13日(火)には浜松市の農家レストラン、「とんきい」へ昼食(バイキング方式)を兼ねて訪問し、説明を受け、翌14



あぐりレストラン陽だまりのバイキング

日(水)には、袋井市の名倉メロン農場を視察した。倉メロン農場はしずおか女性農業委員の会 前会長 名倉ミツ子氏が経営され、土日祝日営業のカフェも営んでおられる。その後昼食を兼ね、袋井市で「有限会社 どんどこあさば」の農産物直売所と農家風健康バイキング「あぐり レストラン陽だまり」を視察した。

## 女性農業者 地域別交流会 の開催

11月、県下5会場で、6次産業化や直売所などで農業経営発展を志向する女性農業者を支援するための女性農業者地域別交流会を農業会議主催で開催した。



女性農業者地域別交流会会場の様子

事例発表者として、伊藤里美氏(海津市・なす生産、加工)、田下喜代氏(関市・米大豆他生産、



意見交換会の様子

加工)、山田タツエ氏(関市・野菜生産、加工)、熊崎美保子氏(津川市・トマト、花生産と餅加工)が行い、話題提供者として藤中広氏(NPO農商工ネットワーク代表)、山瀬孝氏(JEC代表取締役)が行った。その後、7〜8名に分かれて女性農業者の幅広い取り組みをテーマに和やかに意見交換が行われ、女性農業者の「つながり」を深める機会となった。

なお、第2回女性農業者地域別交流会は、2月20日(岐阜地域)、2月27日(中東濃地域)、2月25日(飛騨地域)に、家族経営協定等をテーマに開催する。

## 女性起業・ 6次産業化セ ミナーの開催

12月18日(火)岐阜都ホテル、21日(金)高山グリーンホテルで女性起業・6次産業化セミナーを農業会議主催で開催した。



杉山ミサ子氏の発表と会場の様子

事例発表では「女性農業者による6次産業化の取り組み」と題して、関市武芸川町の特産品開発企

業組合代表 杉山ミサ子氏の「つるむらさきパウダーを使った製品開発」、高山市(株)寺田農園代表 寺田真由美氏の「トマトとにんにくを使ったパスタソースの新商品開発」の発表を聞いた。



寺田真由美氏の発表

次に、「国による6次産業化の支援体制と支援制度」について6次産業化サポートセンターの笠井博政氏、同センタープランナー 森竜也氏から説明を受けた。また、「県による6次産業化の支援体制と支援制度」について、県農産物流通課 青谷英樹技術課長補佐兼地産地消係長から説明を受けた。最後に県全体で農業経営発展をめざす女性農業者を対象に「岐阜県女性農業経営者ネットワーク(仮称)」の立ち上げを提案し、会員を募っていくことを説明した。

# メーリングリストに 登録しませんか？

「県女性農業者ネットワーク(仮称)」はメーリングリストによる  
情報交換を行っています。

詳しくは岐阜県農業会議 (TEL:058-268-2527) へお問い合わせ下さい。

このネットワークには、女性農業者だけでなく、関係者の方など  
なだでも登録できます。詳しい登録方法等は、岐阜県農業会議 農地・  
経営課(担当:堀口・松浦)へお問い合わせ下さい。

<編集後記>

平成25年を迎え、女性農業委員各位は地域で大変ご尽力頂き敬意を表する次第です。政権交代により農業関係の補正予算、25年度予算ともに増額されますが、農政施策が大きく転換されることは農業者に不安と戸惑いをもたらすものであり、最大限のご留意をお願いしたいものです。

皆様方のご活躍とご健闘を祈念します。



(H)

農業者の視点でお届けします



# 情報が拓く 経営とくらし 全国農業新聞

金曜日発行 月600円、年7,200円